

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成25年12月19日(2013.12.19)

【公開番号】特開2013-68804(P2013-68804A)
 【公開日】平成25年4月18日(2013.4.18)
 【年通号数】公開・登録公報2013-018
 【出願番号】特願2011-207456(P2011-207456)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)
 B 3 2 B 27/30 (2006.01)
 B 2 9 C 55/04 (2006.01)
 G 0 2 F 1/1335 (2006.01)
 B 2 9 K 29/00 (2006.01)
 B 2 9 L 9/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30
 B 3 2 B 27/30 1 0 2
 B 2 9 C 55/04
 G 0 2 F 1/1335 5 1 0
 B 2 9 K 29:00
 B 2 9 L 9:00

【手続補正書】
 【提出日】平成25年10月30日(2013.10.30)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

保護フィルムと、前記保護フィルムの一方向の面に形成されている厚さ10μm以下の偏光子層とを備える偏光板の製造方法であって、

基材フィルムの一方向の面に、ケン化度(モル%)および平均重合度が以下の式(1)または式(2)の関係を満たすポリビニルアルコール系樹脂からなる樹脂層を形成して積層フィルムを得る樹脂層形成工程と、

前記積層フィルムを一軸延伸して延伸フィルムを得る延伸工程と、

前記延伸フィルムの前記樹脂層を二色性色素で染色して偏光子層を形成して偏光性積層フィルムを得る染色工程と、

前記偏光性積層フィルムにおける前記偏光子層の前記基材フィルム側の面とは反対側の面に保護フィルムを貼合して多層フィルムを得る貼合工程と、

前記多層フィルムから前記基材フィルムを剥離する剥離工程と、を有する、偏光板の製造方法。

$$\frac{9.6\text{モル}\% < \text{ケン化度}}{9.3\text{モル}\% \text{ ケン化度}} = \frac{9.8\text{モル}\%}{9.6\text{モル}\%} \quad (1)$$

$$\frac{9.3\text{モル}\% \text{ ケン化度}}{9.6\text{モル}\% \text{ ケン化度}} \text{ かつ } \frac{\text{平均重合度}}{2.500} \quad (2)$$

【請求項2】

前記延伸工程において、前記樹脂層が5倍超の延伸倍率で一軸延伸される、請求項1に記載の偏光板の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】偏光板の製造方法